

## 世田谷村日記

石山修武

七月十二日 土曜日

流石にこの季節になると、三階から地下に下りると空気はヒヤリとして気持ちが良い。地下で二十三。だから、上は二十七。くらいいまで気温は上がっているだろう。

聖徳寺打ち合わせ。だんだん煮つまってきた。久し振りの衝撃的なモノに仕上げてやる。十五時大学配島工業社長来室。雑談。

#5朝山邸の基礎工事はキチンと進めてくれていたようだ。夕刻人気の少ない研究室でスケッチをすすめる。様々なアイデアがたまり過ぎて飽和状態に近い。中国のプロジェクトには我ながら繊細過ぎるし、日本の、今抱えているモノでは小さ過ぎる。小さなモノに色んなアイデアをブチ込み過ぎて、これ迄は苦い目にあつて来たから、少しは用心深くなっている、自分を冷たく視しているところかな。

佐藤健が亡くなって、もう七ヶ月位経つ。一人でエスキスしていたりの時間に、フツと空白が出来てしまった時に痛烈な寂寥感が襲ってくる事がある。コンピューターで昨年の四月の日記を読んで彼の生前をしのんでみたりするが、そんな事で埋め合わせがつくものではない。今夕は研究室OGの佐藤が訪ねてくるが佐藤健の話でもしてみるか。二十五才の女性と話す話題がとりたてて無いな。

七月十三日 日曜日

只今、九時過、TV番組製作会社ルーカスの連中と東名を走り沼津で降り、柿田川湧水を通り過ぎたところ。今日は#3藤井邸のオープンハウスで、現場に向っている。驚いた事に雨の中十時半、伊豆西海岸安良里の現場に着いてしまう。早速ルーカスの面々はカメラを廻し始める。十三時半入場開始。八〇名程の参加者だった。雨の中良く集まってくれた。少しばかりの説明、あいさつ、施主の藤井晴正紹介、ハンマのあいさつ。松崎町役場森さん及び役所の方々の紹介、#13高橋一家の紹介、群馬の大工市根井君紹介。それ等を済ませて小邸でそば。十六時過伊豆の長八美術館を経て一路東京へ。

今度の、この様な会は八月三日の朝山邸建前の会を予定しているが、キチンと準備して行えば実りのある会になってゆくだろうと考えた。